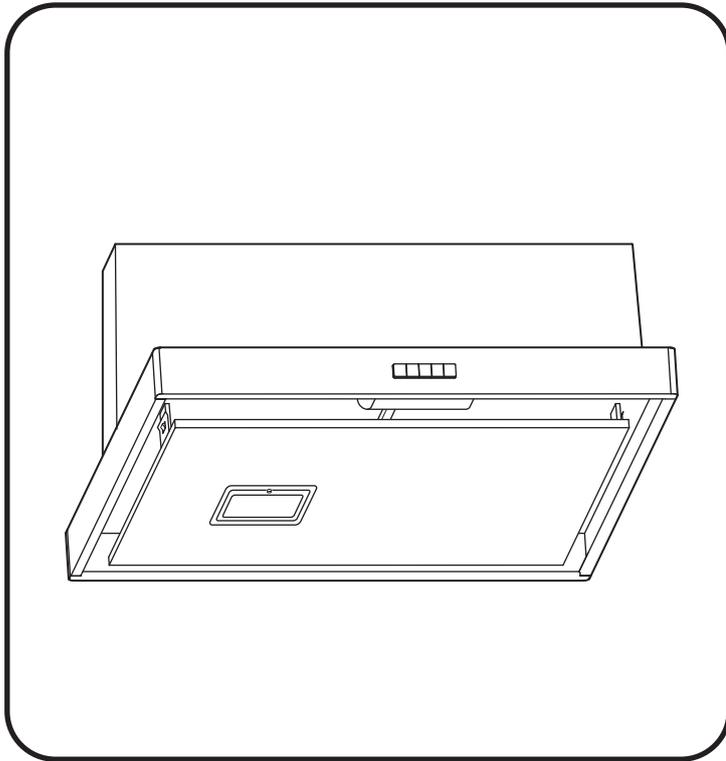


取付設置説明書

レンジフード

シロッコファンタイプ



品番

S35AH2ZM <750幅>

W35AH2ZM <750幅>

S35AH3ZM <900幅>

W35AH3ZM <900幅>

- この取付設置説明書をよくお読みのうえ、正しく取付設置してください。
特に「安全上のご注意」(2~3ページ)は、取付設置前に必ずお読みいただき、安全に取付設置をおこなってください。
取り付け不備などによる事故や損傷につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 取付設置後に、必ず動作確認をおこなってください。
- 取扱説明書は必ずお客様にお渡しし、使い方を説明してください。
- 梱包材や残材は、「廃棄物処理法」に従って適切に処理してください。

もくじ

安全上のご注意	2~3
各部の名前	4
外形寸法図・結線図	5
付属品・別売品	6
取付設置前に	7~8
取付設置方法	9~15
仕様	裏表紙

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

■分解・改造は絶対にしない



分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実におこなう



必ず守る

誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

■給気電動シャッター連動用コード、電動シャッター連動用コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する



必ず守る

火災など重大な事故の原因となります。

■D種接地工事をおこなう



アース線接続

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

■交流100ボルトで使用する



必ず守る

火災・感電の原因となります。

■排気工事をおこなう場合、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って、取付設置する



必ず守る

火災など重大な事故の原因となります。

■レンジフード本体とダクトは可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う



必ず守る

火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署（庁）にお問い合わせください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む



必ず守る

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する



必ず守る

火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署（庁）にお問い合わせください。

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける



必ず守る

漏電した場合、火災の原因となります。

注意

■部品は確実に取り付ける



落下により、けがを
するおそれがあります。

必ず守る

■本体は指定の方法で確実に取り付ける



落下により、けがを
するおそれがあります。

必ず守る

■レンジフード本体の壁への埋め込みはしない



漏電した場合、発火
するおそれがあります。

禁止

■本体は、十分強度のあるところに水平にしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する



落下により、
けがをする
おそれがあります。

必ず守る

■取り付け工事の際は、厚手の手袋を使用する



板金部品などの
切り口や本体の
突起、角などで
けがをすることが
あります。

必ず守る

■運転中や停止後しばらくの間は、羽根の中に指や物を入れない

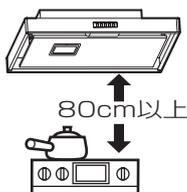


けがをす
ることがあ
ります。

接触禁止

お願い

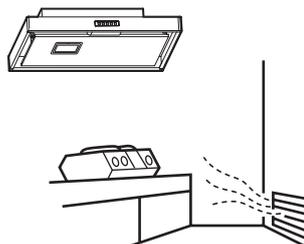
■ガス調理機器、電気調理機器の真上、80cm以上の位置に取り付けてください。



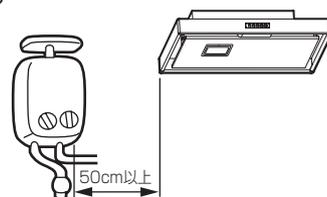
火災予防条例ではフィルターの
下端がガス調理機器、電気調理
機器の真上80cm以上必要です。
(高く取り付けますと、吸い込み
が悪くなります。)

■空気の取り入れ口（給気口）を設けてください。（開口面積100～150cm²が目安となります。）

給気電動シャッターを使わない
場合は排気性能確保のため、空
気の取り入れ口を設けてくださ
い。

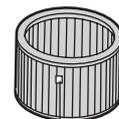


■ガス湯沸かし器は側方に離して取り付けてください。



■羽根の回転バランスをとるためにランサー（重り）が付いている場合がありますが、絶対に外さないようにしてください。

異常や故障の
原因となります。



ランサー

■次のような配管工事はしないでください。

(吐出口のすぐそばで曲げると、
シャッターが開かなくなり正しく
排気されません。)

(1) 極端な曲げ (2) 吐出口のすぐそばでの曲げ



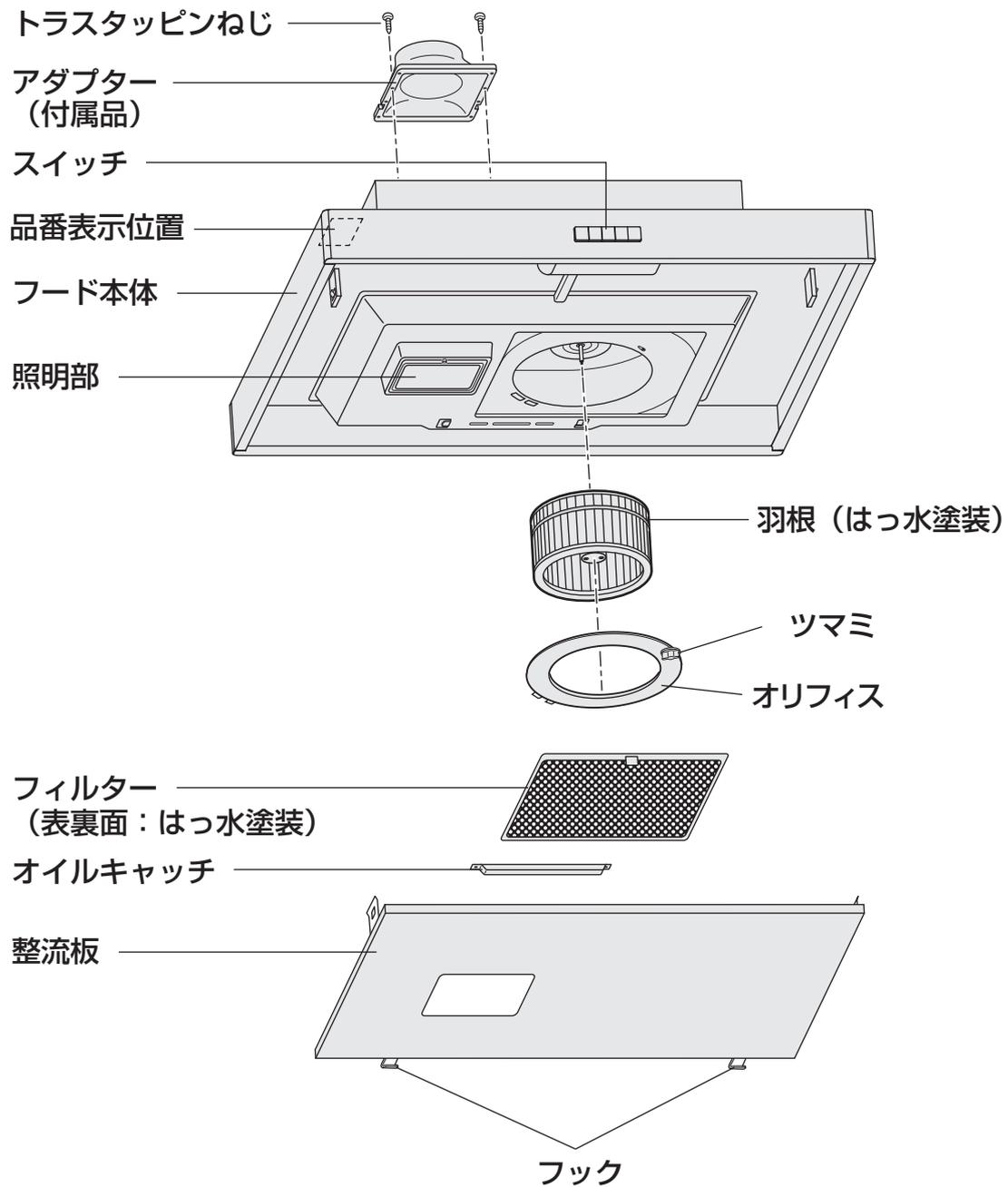
(3) 多数回の曲げ (4) 接続ダクト径を小さくする。



■羽根を外した状態でモーターを回転させないでください。

回転数が上がり、モーターが
焼きつくことがあります。

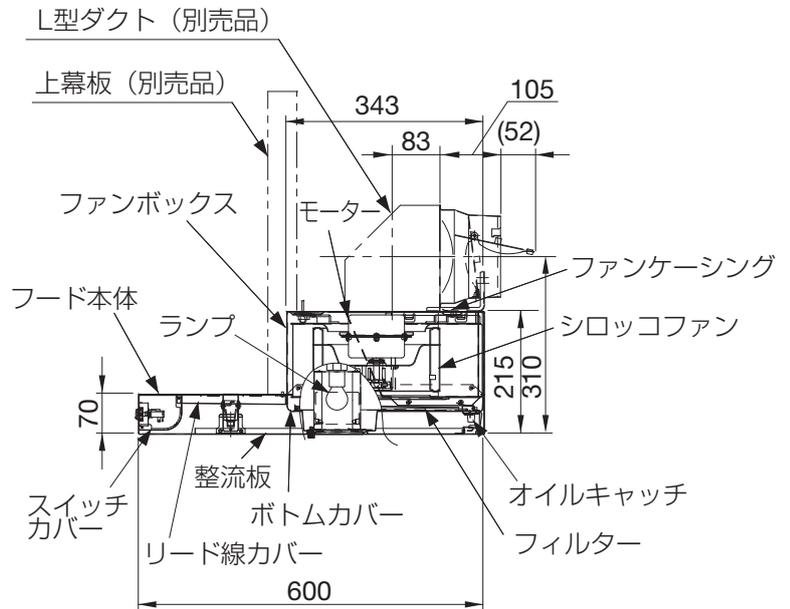
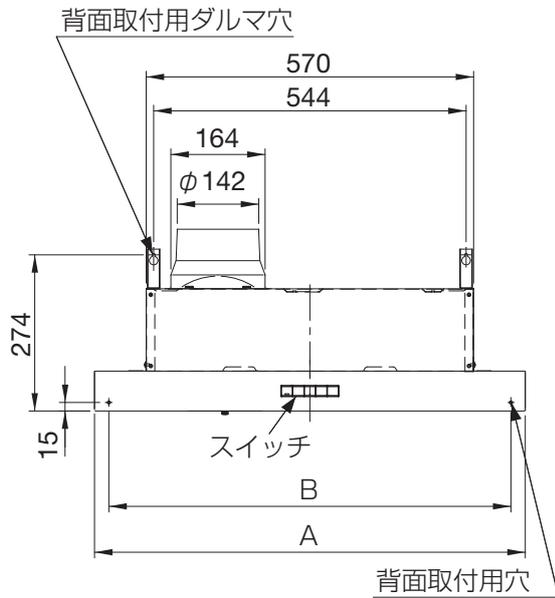
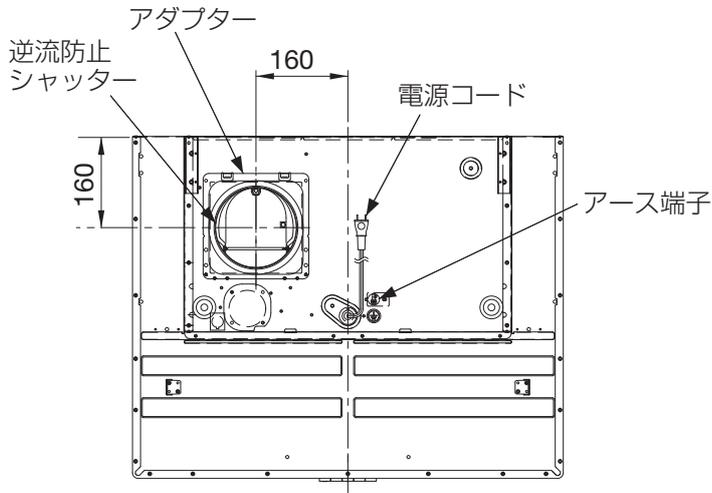
各部の名前



外形寸法図・結線図

外形寸法図

〔単位：mm〕

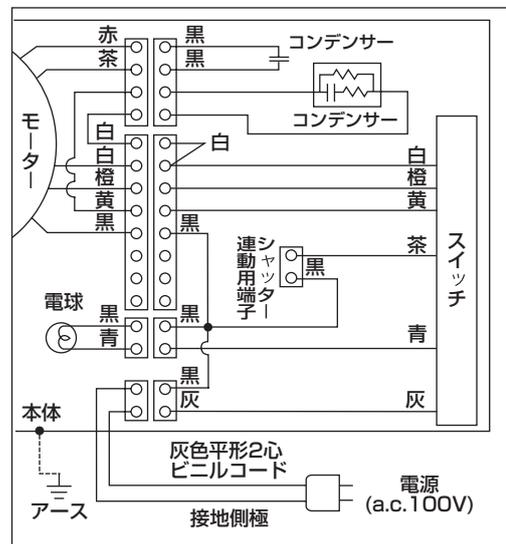


■接続ダクト（市販品）

呼び径	種類
φ150 (6番)	鋼板スパイラルダクト

	A	B	質量(kg)
S35AH2ZM W35AH2ZM	750	700	14
S35AH3ZM W35AH3ZM	900	850	15

結線図

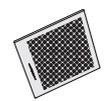
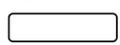


付属品・別売品

お願い

この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

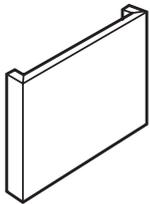
付属品

- パッキングテープ (ダクト接続用)  1個
- フィルタ  1個
- トラスタッピンねじ
・アダプター固定用 (φ4×8) ...  2個
- アダプター  1個
- ・本体固定用 (φ4×40)  4個
- 取付金具  2個
- トラス転造ねじ (φ5×8)  4個
- 常時換気お願いラベル  2枚
- オイルキャッチ  1個

別売品

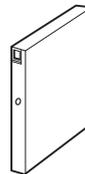
(FY……品番はパナソニックエコシステムズ(株)製のもので、別途手配願います。)

〔上幕板〕



- S33AHPM755 W33AHPM755
- S33AHPM756 W33AHPM756
- S33AHPM757 W33AHPM757
- S33AHPM905 W33AHPM905
- S33AHPM906 W33AHPM906
- S33AHPM907 W33AHPM907

〔横幕板 (上幕板用)〕



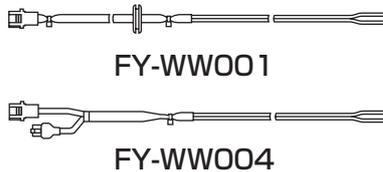
- S33AHPY5 W33AHPY5
- S33AHPY6 W33AHPY6
- S33AHPY7 W33AHPY7

〔給気電動シャッター〕



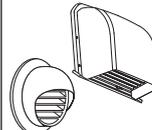
- FY-DQS63BLK
- FY-DQSA63BLK (防火ダンパー付き)

〔給気電動シャッター連動用コード (給気電動シャッターを使用される場合)〕



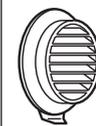
- FY-WW001
- FY-WW004

〔パイプフード〕



- FY-MCX062
- FY-MCXB062 (防火ダンパー付き)
- FY-MFX063
- FY-MFXB063 (防火ダンパー付き)

〔ベントキャップ〕



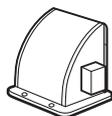
- FY-VCX062
- FY-VCXB063 (防火ダンパー付き)

〔電動シャッター〕



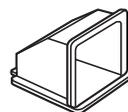
08AHKS1

〔電動シャッター付きL型ダクト〕



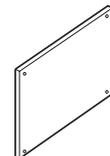
08AHKS2

〔L型ダクト〕

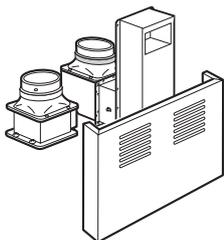


09AH3P

〔化粧幕板〕

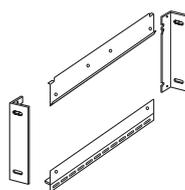


〔同時給排幕板〕



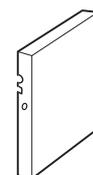
- S33AHDM757B
- S33AHDM907B
- W33AHDM757B
- W33AHDM907B

〔化粧幕板取付金具〕



- S33AH1P755
- S33AH1P905
- S33AH1P756
- S33AH1P906
- S33AH1P757
- S33AH1P907
- W33AH1P755
- W33AH1P905
- W33AH1P756
- W33AH1P906
- W33AH1P757
- W33AH1P907

〔横幕板 (化粧幕板用)〕



- S33AHPK5
- S33AHPK6
- S33AHPK7
- W33AHPK5
- W33AHPK6
- W33AHPK7

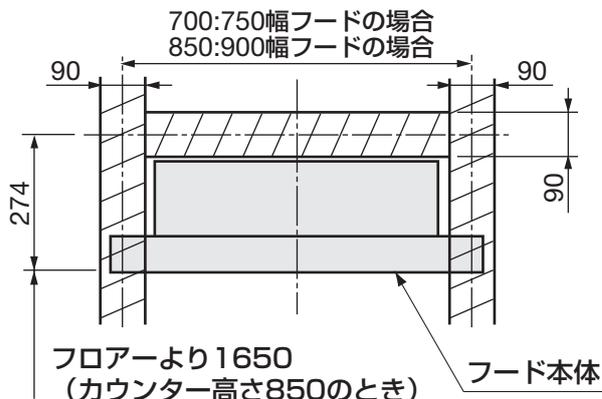
※レンジフードを常時換気設備として使用しない場合に、「同時給排幕板」または「給気電動シャッター」を使用することができます。

(常時換気設備として使用する場合は、住宅全体の換気ができなくなります)

取付設置前に

1.フード取り付け用棧工事

1、フードの取り付け用棧は下図のように固定します。



(単位：mm)



注意

■本体は、十分強度のあるところに水平にしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する



落下により、けがをするおそれがあります。

必ず守る

2、取り付け用棧は厚み30mm×幅90mm程度のもの（できれば防虫処理したもの）を使用してください。

3、フードの質量は、750幅……14kg
900幅……15kgです。

十分耐える取り付けをしてください。しっかり取り付けられていないと、騒音、振動の原因になります。

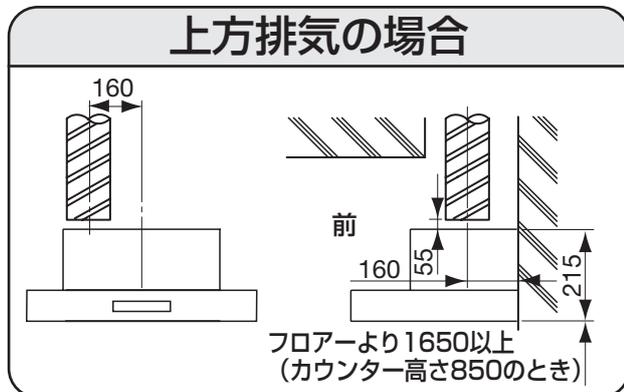
4、フードは、水準器を使用して水平に取り付けてください。（0.5度以下）傾いて取り付けますと、オイルキャッチに油がたまらないおそれがあります。

2.ダクト配管について

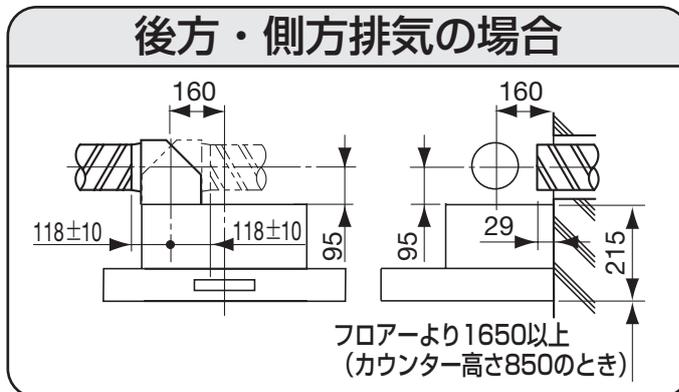
1、製品外形寸法図、または下図の吐出穴位置に壁穴をあけてください。

2、上方排気の場合は、φ150のスパイラル管を下図のような位置にセットして周囲を仕上げてください。
側方排気の場合は、L型ダクトを組み合わせたアダプターの位置にφ150のスパイラル管をセットして周囲を仕上げてください。

上方排気の場合



後方・側方排気の場合



3、後方排気の場合は、下記数値以上の壁厚の所に本体を取り付けてください。

防火ダンパー付きパイプフード使用時	190mm以上
防火ダンパー無しパイプフード使用時	110mm以上

※アダプターのシャッターがパイプフードに当り完全に開かない場合があります。

取付設置前に (続き)

3.電気工事について ※電気工事は電気工事業者にご依頼ください。

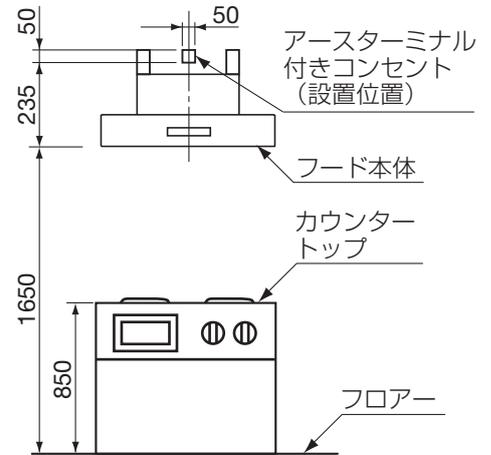
1. 電気工事のご注意

- 本機はa.c.100V仕様です。
- 本体を設置する場所の、図の位置にアースターミナル付きコンセントを設置してください。
- アース工事を必ずおこなってください。

2. 漏電遮断器の設置について

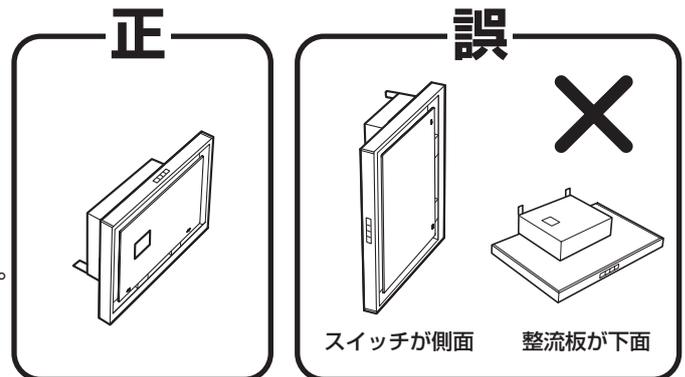
万一の漏電事故時安全確保のために、漏電遮断器の設置をしてください。

推奨漏電遮断器	住宅分電盤小形漏電ブレーカー 定格電流20A, 感度電流15mA
---------	-------------------------------------



4.開梱の際は

1. 本体に取り付いている包装材 (段ボール、テープ) を必ず取り外してください。
※フード前面 (スイッチ操作面) に貼ってある保護シートは取り外さないでください。
2. 下図のように正しい置きかたをしてください。
※誤った置きかたをしますと傷や破損の原因となります。

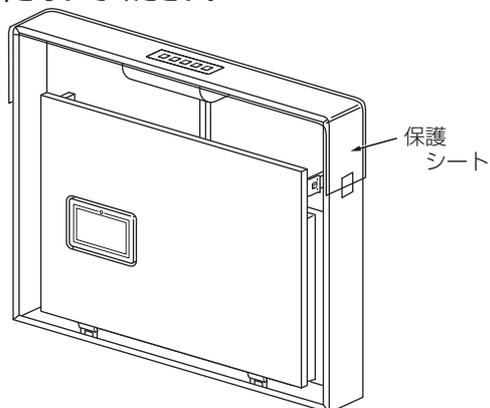


取付設置方法

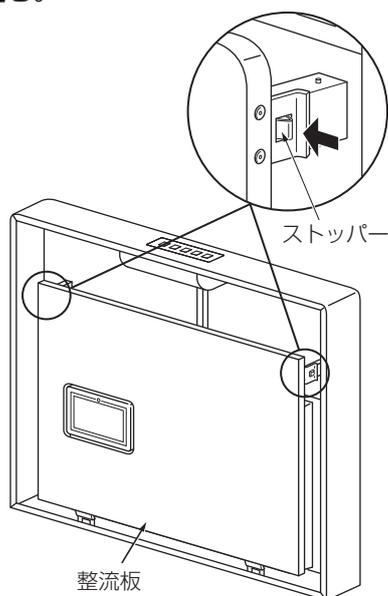
1. 整流板を外す

お願い

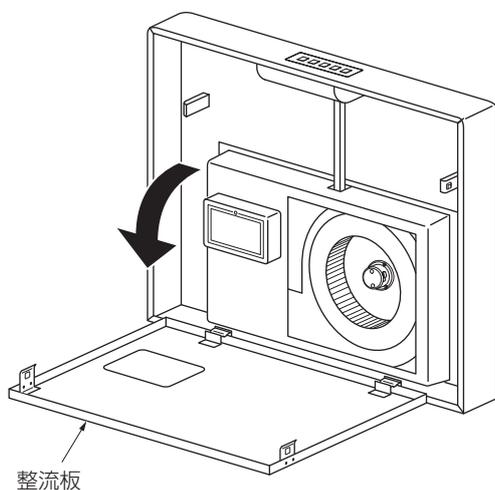
フード前面に貼ってある保護シートは取付設置完了まで取り外さないでください。



- ① 整流板を固定している左右のストッパーを指で押し込む。

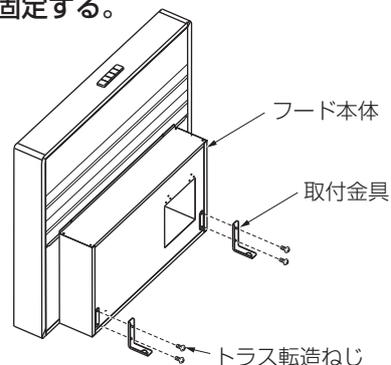


- ② 整流板をゆっくり下げ、整流板を外す。



2. フード本体の取り付け

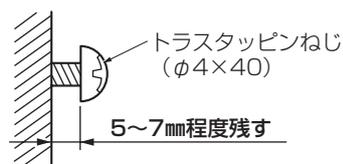
- ① 取付金具をフード本体にトラス転造ねじ (各2個) で固定する。



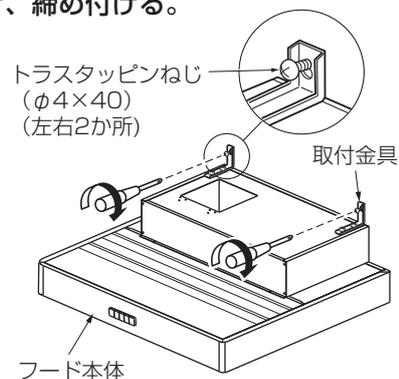
お願い

ねじは締め付けトルク2N・m (20kgf・cm) 以下で締め付けてください。

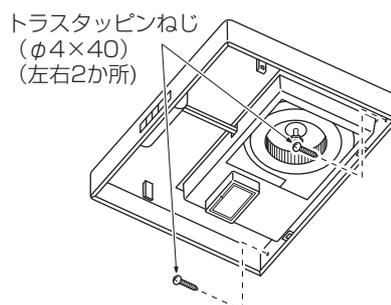
- ② 背面取付用ダルマ穴位置 (2か所) にトラスタッピンねじ (φ4×40) を仮止めする。



- ③ フード本体に固定した取付金具のダルマ穴を仮止めしたトラスタッピンねじ (φ4×40) に引っ掛け、締め付ける。



- ④ トラスタッピンねじ (φ4×40) でフード本体を固定する。

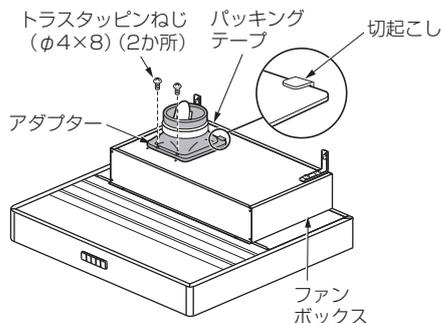


取付設置方法 (続き)

3.アダプターの取り付け

上方排気の場合

- ① アダプターにパッキングテープ (ダクト接続用 付属品) を貼り付けた後、ファンボックスの切起こし (2か所) にアダプターを差し込み、トラスタッピンねじで固定する。

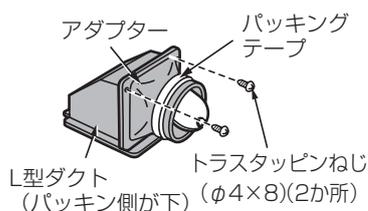


- ② ダクトと接続した部分にアルミテープ (市販品) を巻きつけ、空気もれを防ぐ。



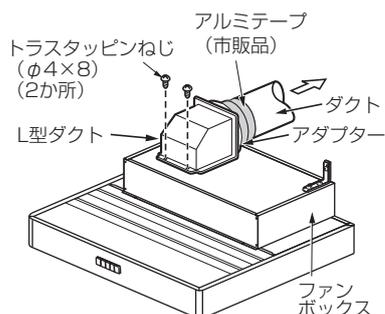
後方・側方排気の場合

- ① アダプターにパッキングテープ (ダクト接続用 付属品) を貼り付けたあと、L型ダクト (別売品) へアダプターをトラスタッピンねじ (2か所) で固定する。



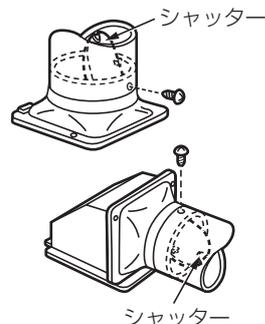
- ② L型ダクト (別売品) をファンボックスの切起こしに差し込み、トラスタッピンねじ (2か所) で固定する。

- ③ アダプターとダクトを接続し、接続した部分にアルミテープ (市販品) を巻きつけ、空気もれを防ぐ。



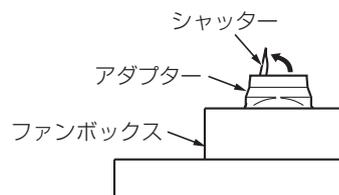
お願い

- ダクトをねじ止めする場合は、長さ10mm以下のねじを使用し、シャッター可動部に当たらないように固定してください。



- シャッターがアダプターにテープで固定されている場合は、テープを取り除いてください。

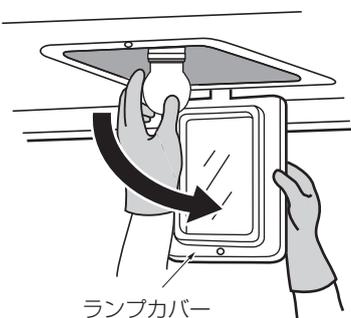
- アダプターのシャッターが下図の方向に開くように、ファンボックスに取り付けてください。



- 排気ダクトと可燃物の距離は、10cm以上離すか、もしくは下記の処理をしてください。
 - ・ 5mm以上の不燃材料で被覆し、かつ50mm以上離す。
 - ・ 50mm以上の不燃材料で被覆する。

4.電球の確認

ランプカバーを開ける。



電球のゆるみがないことを確認したあと、ランプカバーを固定してください。

お願い

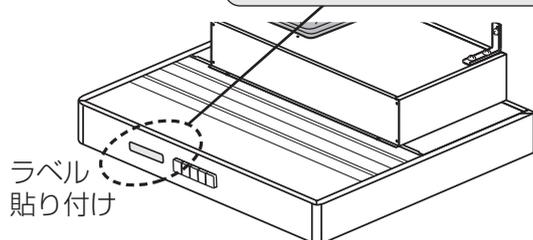
ツマミをゆるめると、ランプカバーが外れる場合がありますので、手で押さえてください。

5.常時換気お願いラベルの貼り付け

1) このレンジフードを常時換気設備として使用する場合は、常時換気お願いラベルをスイッチ付近に貼り付けてください。

※24時間換気システム「換気上手」としてレンジフードを使用される場合には、24時間換気システムの取付設置説明書もあわせてご参照ください。詳しくは工務店様にご確認ください。

24時間連続換気してください



※常時換気お願いラベルは付属品の中に入っています。黒文字のラベルを使用してください。

2) 通常のレンジフードとしてご使用される場合（常時換気をおこなわない場合）は、常時換気お願いラベルは不要です。

6.電源の接続



■D種接地工事をおこなう



アース線接続

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む



必ず守る

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する

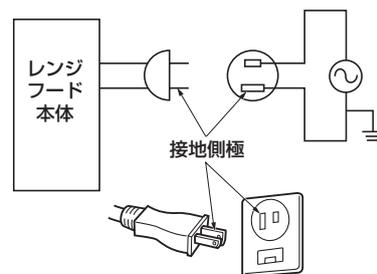


必ず守る

火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署(庁)に問い合わせてください。

●万一の感電防止のため必ずファンボックス天面のアース端子を使用してアース工事をしてください。

●電源プラグをコンセントに差し込みます。



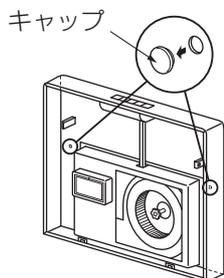
●屋内配線が正しいか極性確認をおこなってください。

取付設置方法 (続き)

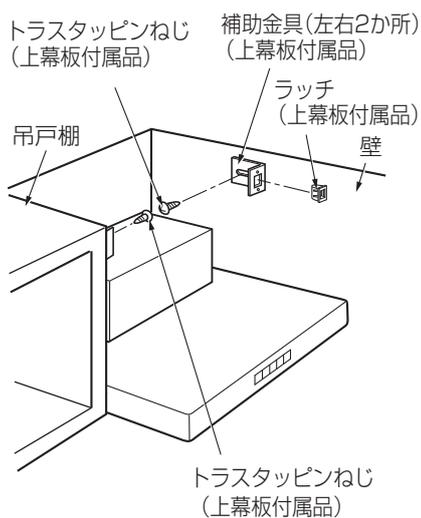
7.上幕板を取り付ける場合

上幕板 (鋼板製) の取り付け

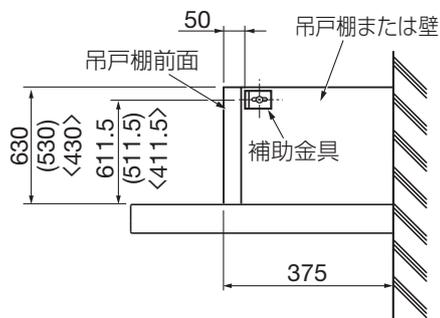
①キャップを外す。



②補助金具にラッチを取り付け、左右の吊戸棚または壁にねじで固定する。(補助金具取付面とフード本体側の側面を合わせて取り付ける。)

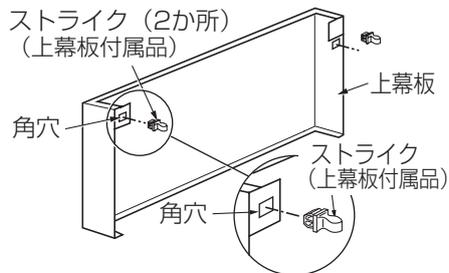


補助金具取付位置

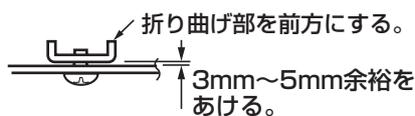
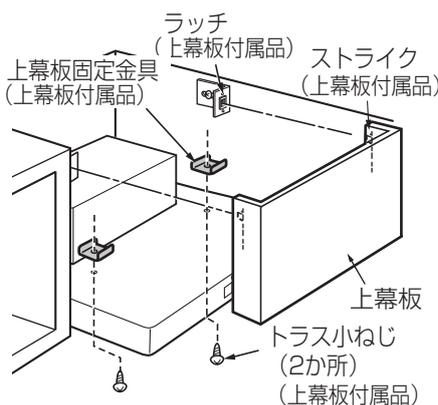


※ () 内寸法は、上幕板高さ530mmの幕板を取り付ける時の寸法です。
 < >内寸法は、上幕板高さ430mmの幕板を取り付ける時の寸法です。

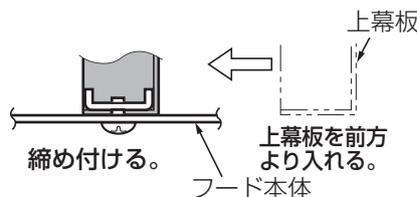
③上幕板裏面の角穴にストライクを取り付ける。(ストライクは縦向きに取り付ける。)



④フード本体内側より上幕板固定金具 (2個) を仮止めし、上幕板の上部ストライクをラッチにはめる。



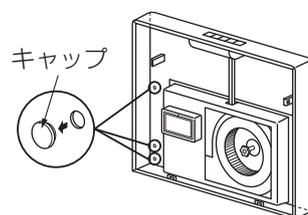
⑤上幕板固定金具とフード天面の間に上幕板を前方から入れ、トラス小ねじを締め付ける。



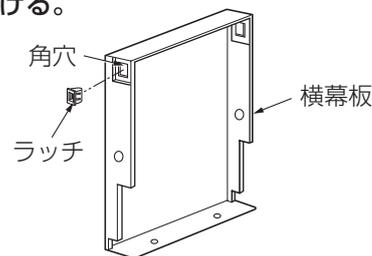
※整流板を外して作業する。

横幕板 (鋼板製) の取り付け

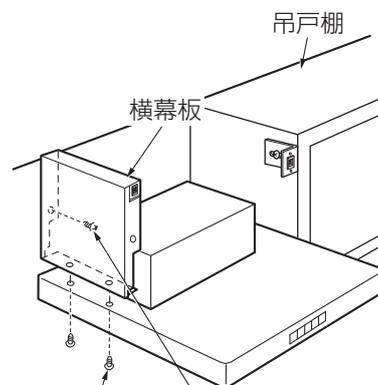
①キャップを外す。



②横幕板の角穴にラッチを取り付ける。



③横幕板をねじで固定する。



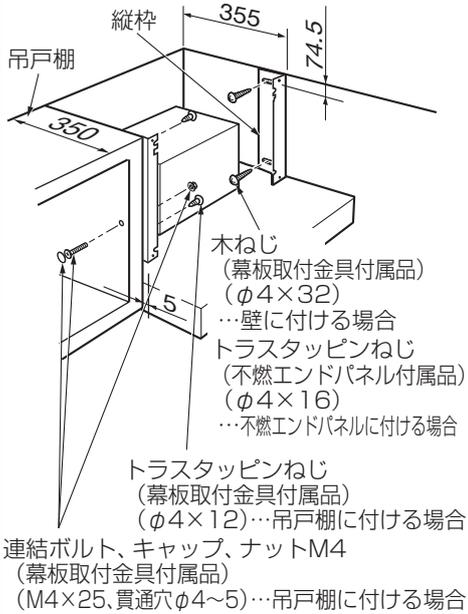
④上幕板の角穴にストライクを取り付ける。(ストライクは縦向きに取り付けてください。)

⑤上幕板のストライクを横幕板のラッチに差し込み(「パチン」と音がするまで)、上幕板を取り付ける。

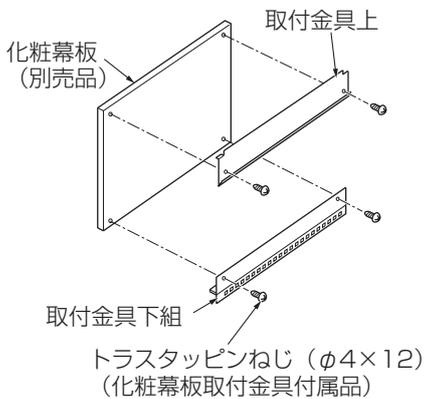
8.化粧幕板を取り付ける場合

幕板取付金具の取り付け

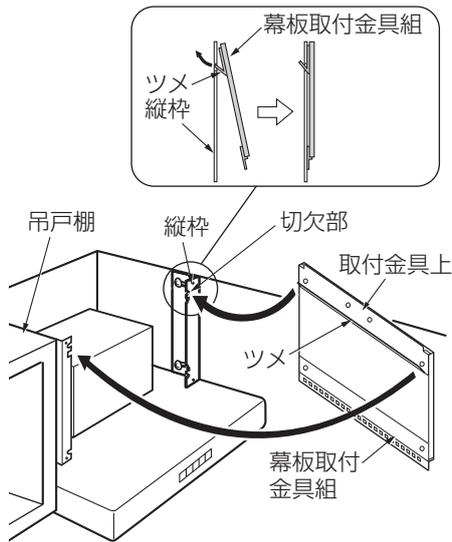
- ①縦枠を吊戸棚または壁面にねじで固定する。



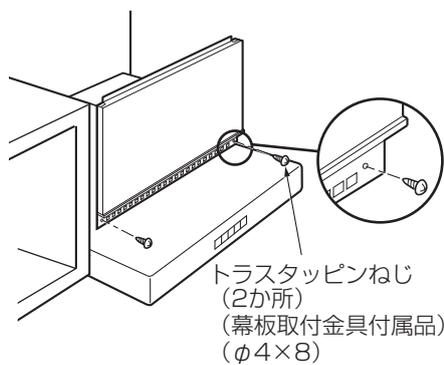
- ②化粧幕板の裏側に、取付金具上、下組をねじで固定する。



- ③縦枠の切欠部に取付金具上のツメを引っ掛ける。



- ④縦枠と幕板取付金具組をねじで固定する。

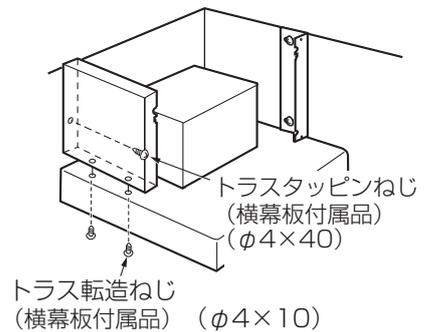


横幕板(幕板取付金具用)の取り付け

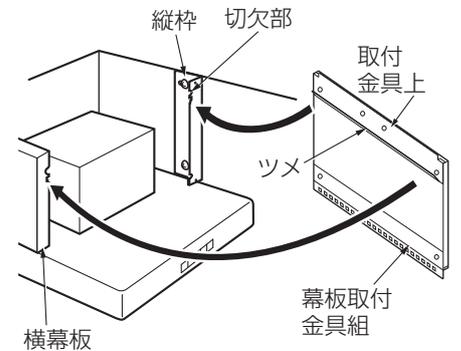
- ①縦枠を吊戸棚または壁面にねじで固定する。

幕板取付金具の取り付け①を参照してください。

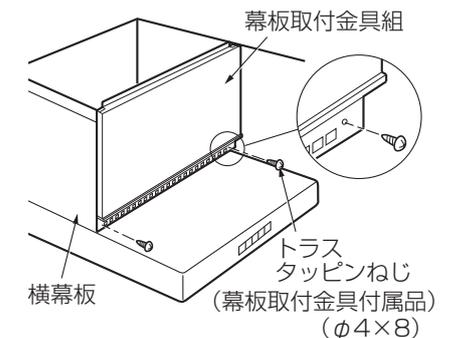
- ②横幕板をねじで固定する。



- ③幕板取付金具組を横幕板と縦枠の切欠部に引っ掛ける。



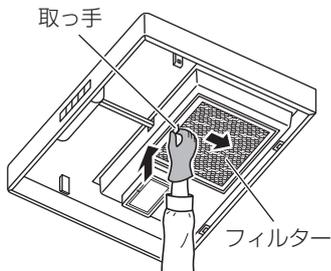
- ④幕板取付金具組を横幕板と縦枠にねじで固定する。



取付設置方法 (続き)

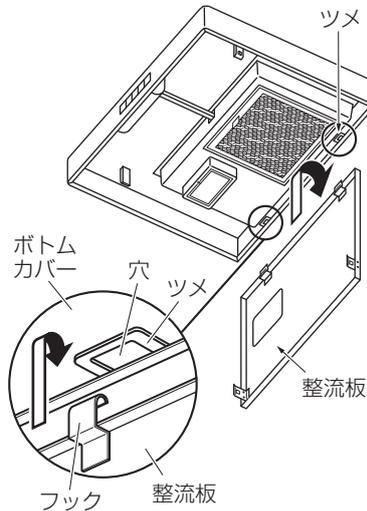
9. フィルターの取り付け

- ① フィルターの取っ手を持ち、壁側に押す。
- ② 押し上げて取り付ける。

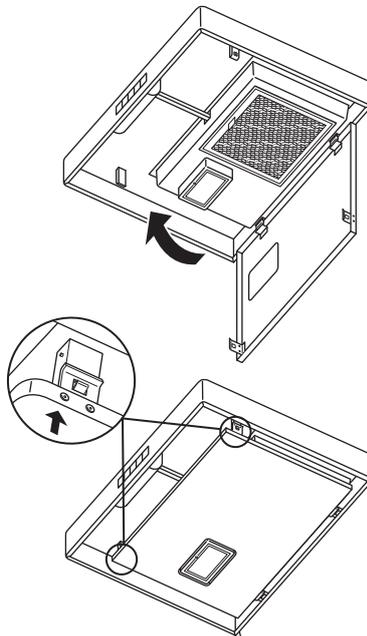


11. 整流板の取り付け

- ① 整流板を両手で持って、
- ② フックの穴をボトムカバーのツメに手前側から掛ける。



- ③ 整流板を両手でおこして、ストッパーにきちんとはまるまで押し上げる。

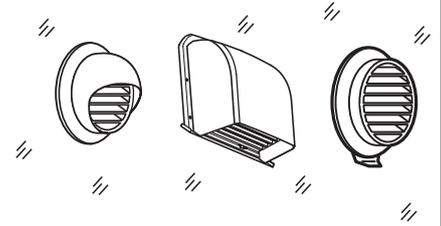


お願い

- 整流板がきちんと固定されているか確認してください。固定されていないと落下するおそれがあります。

12. 外壁面の取付設置

- 外壁面には、パイプフードまたはベントキャップを現場にて調達し、付属の取付設置説明書に従って取り付けてください。



13. 動作確認

- 分電盤のブレーカーを入にして、本体操作スイッチでの動作を確認してください。

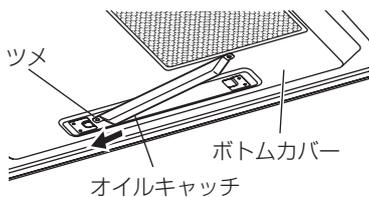
本体側	チェック欄
常時	
弱	
強	
照明	
切	

お願い

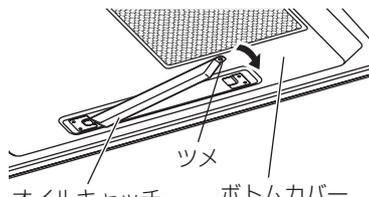
- 運転時、排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
※羽根は回っていますか？
- 異常な騒音・振動がないことを確認してください。
- 照明が点灯しない場合は、電球にゆるみがないかを確認してください。
- フード前面の保護シートをはがしてください。

10. オイルキャッチの取り付け

- ① オイルキャッチのツメをボトムカバーの溝に差し込む。



- ② もう1方のツメをボトムカバーの反対側の溝に差し込む。



- ※ 「オイルキャッチ」の刻印を手前に向けて取り付けてください。

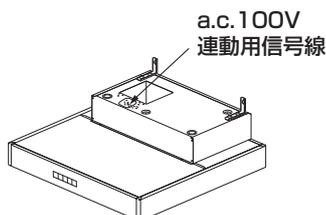
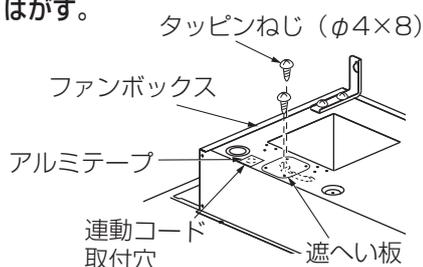
シャッターの取り付け

本フードには、運転連動させてシャッターを開閉することができる連動用信号線がついています。

運転モード	常時	弱	強
連動用信号線出力	a.c.100V	a.c.100V	a.c.100V

- 接続は「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って確実に接続してください。
- 連動用シャッターの取付設置は機器に付属の取付設置説明書にもとづき確実にこなってください。

- ①タッピンねじを外し、遮へい板を取り外す。
- ②フード天面の連動用コード取付穴のアルミテープをはがす。



警告

■給気電動シャッター連動用コード、電動シャッター連動用コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する



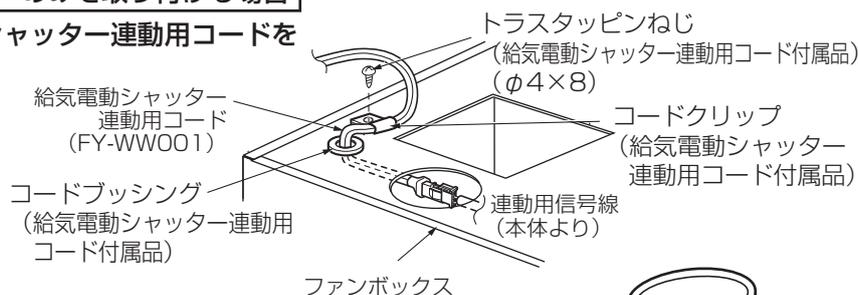
火災など重大な事故の原因となります。

必ず守る

A 給気電動シャッターのみを取り付ける場合

図のように給気電動シャッター連動用コードを取り付ける。

運転時にシャッターが開きます。



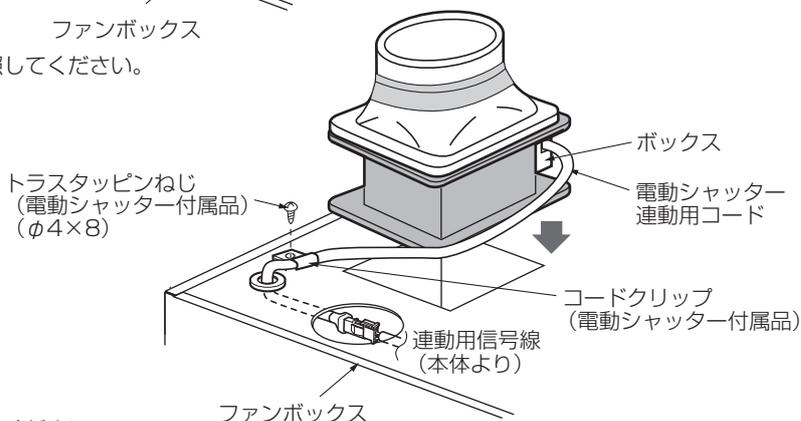
※詳細は給気電動シャッターの取付設置説明書を参照してください。

B 電動シャッターのみを取り付ける場合

図のように電動シャッターのコードを取り付ける。

電動シャッターは連動用コードが出ているボックスを壁側にして取り付ける。

運転時にシャッターが開きます。

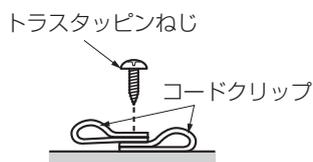


※詳細は電動シャッターの取付設置説明書を参照してください。

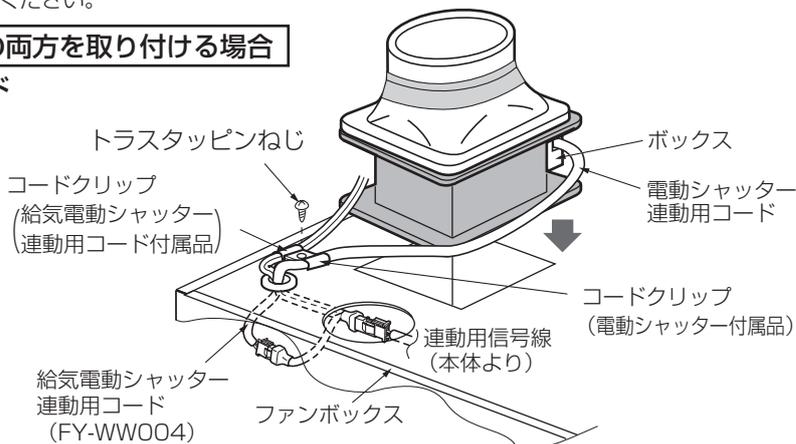
C 給気電動シャッターと電動シャッターの両方を取り付ける場合

図のように給気電動シャッター連動用コードと電動シャッターのコードを取り付ける。

電動シャッターは連動用コードが出ているボックスを壁側にして取り付ける。



※詳細は給気電動シャッターと電動シャッターの取付設置説明書を参照してください。



仕様

品番	質量 (kg)	電源	風量調節	消費電力 (W)	換気風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)
					0Pa時	100Pa時	
S35AH2ZM W35AH2ZM	14	交流100V 50/60Hz	強	85/96	524/502	433/424	45.5/45
S35AH3ZM W35AH3ZM	15		弱	46/49	322/298	—	34.5/33
			常時	13/15.5	135/145	—	18.5/19

●静圧 0Pa (パスカル) とは、レンジフードにおよぼす圧力が「0 (ゼロ)」の状態を示します。

●レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

©Panasonic Corporation 2012